



粕谷家は、徳丸脇村名主粕谷家から
浅右衛門が、享保11年(1726)以前に
この地に^{いん きよ}隠居し、別家となったことに
始まります。その際に隠居料を与えら
れ、慶応元年(1865)における持高は
30石でした。また、幕末にかけて徳丸
脇村の年寄・組頭役を務めました。

建物は、桁行約16.25m、梁間約8.2m
の寄棟造りの茅葺です。平成29年度まで
実施した復元工事によって、南東角の柱
組から「享保八年(1723)卯二月三日…」
の墨書銘が発見されました。このことか
ら建築年代が判る建造物としては都内
最古級のものであり、移築されずに建築
当初の場所に建っていることを加えると、
非常に重要な文化財と考えられます。



梁

きゆうかすやけじゆうたく
旧粕谷家住宅

板橋区登録有形文化財(建造物)
東京都指定有形文化財(建造物)